

# 平成24年産大豆・秋そばのモニタリング検査について

平成24年12月11日

農 政 部

## I 基本的な考え方

- 安全の確保に万全を期すため、平成23年産大豆又はそばで一定水準以上の放射性セシウムが検出された地域において濃密な検査を実施し、検査区域ごとに出荷の可否を判断
- 当該検査区域の検査結果が判明するまで出荷の待機を要請し、収穫、乾燥・調製後の大豆（玄そば）を検査

## II 検査の概要

### 1 検査区域及び検査密度

検査区域の区分	該当市町（旧市町村）	検査点数(見込み)		検査密度
		大豆	秋そば	
① 23年産大豆又はそばの検査で50Bq/kgを超える放射性セシウムが検出された旧市町村、及び隣接する旧市町村	宇都宮市（篠井村1、羽黒村）	26	5	平均作付面積当たり1点
	日光市（篠井村2、大沢村、豊岡村）	87	80	
	塩谷町（船生村、大宮村）	63	34	
	大田原市（金田村、川西町）	140	14	[大豆] 2ha当たり1点
	那須塩原市（鍋掛村1、黒磯町、東那須野村）	94	3	
那須町（那須村、芦野町、伊王野村、鍋掛村2）	6	20	[秋そば] 1ha当たり1点	
② その他の旧市町村	25市町（上記以外の旧市町村）	260	300	旧市町村当たり3点

※50Bq/kg超の場合は、上欄の検査密度に引上げ

合計検査点数（12/11時点の見込み）大豆 676点 秋そば 456点

### 2 検査方法

- ① 収穫、乾燥・調製された大豆（玄そば）を出荷前の段階でサンプリング
- ② 農業試験場又は国の指定分析機関において、ゲルマニウム半導体検出器により測定

### 3 検査結果の取扱い

- ① 検査区域の全検体が100Bq/kg以下であった場合、当該区域の出荷待機を解除
- ② 検査区域で100Bq/kg超が1点でも検出された場合、当該区域の出荷自粛を要請